

施策2

「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」の育成

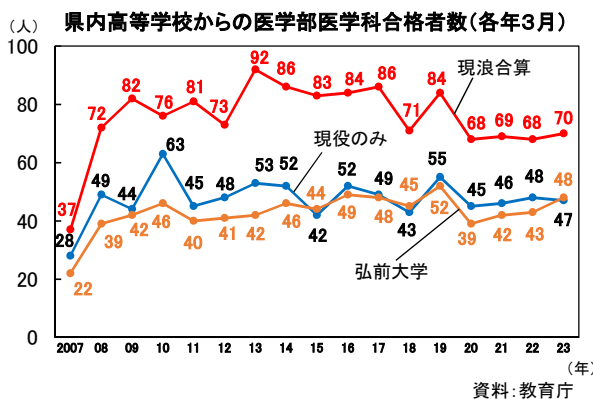
確かな学力の向上に取り組むほか、主権者教育や情報教育などにより、新しい時代に求められる資質・能力の育成に取り組みます。

また、人権を尊重し、他人を思いやる心を育成するとともに、将来にわたって健康に暮らすための知識の習得や意識の醸成、生活習慣の定着に取り組みます。

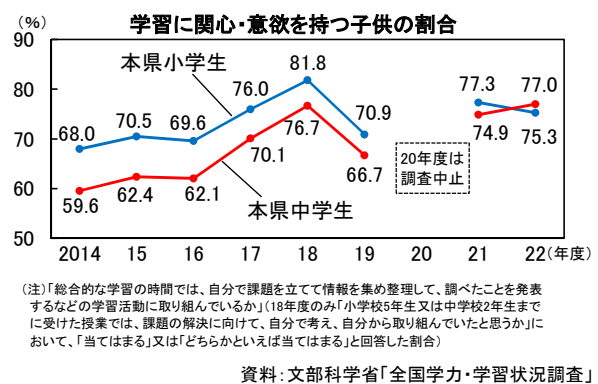
■2022(令和4)年度の取組・成果

- 学習に意欲をもつ子どもの増加を図るため、小・中学生の主体的に学ぶ力の育成に向けた手引きの配布を行うとともに、小学校教員の英語力・指導力向上を支援するため、英語専科教員等の育成や学校訪問を実施しました。また、授業等での学校図書館の積極的な活用に向け、「学校図書館サポーター」を高等学校10校に配置しました。
- 進学力パワーアッププログラムの実施等により高校生の学力及び教員の指導力アップに向けた各学校の取組を支援したほか、医師を志す高校生の実力を養成するため、外部講師による学習セミナーや教員の教科指導力向上プログラムを実施した結果、県内高等学校から70人が医学部医学科に合格しました。
- いじめなどの問題の未然防止、早期対応を図るため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、24時間電話相談員の配置、教員向けの研修、いじめ防止標語コンクールなど、いじめ防止の環境づくりや意識啓発に取り組みました。
- 子どもの運動習慣の確立に向けた教員向けの研修、小学校低学年用運動プログラム及び運動チャレンジカードの普及・宣伝などにより、小学校低学年における運動習慣の定着に取り組みました。

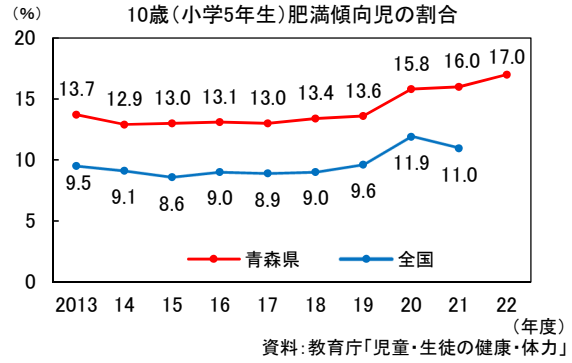
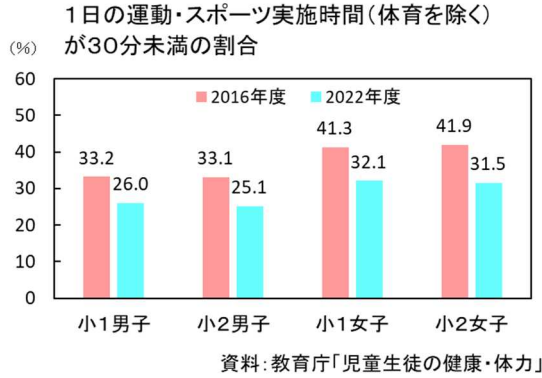
■施策の現状を表す指標の動向等



2023年3月の医学部医学科への合格者数は70人で、概ね70人程度の水準を維持しています。

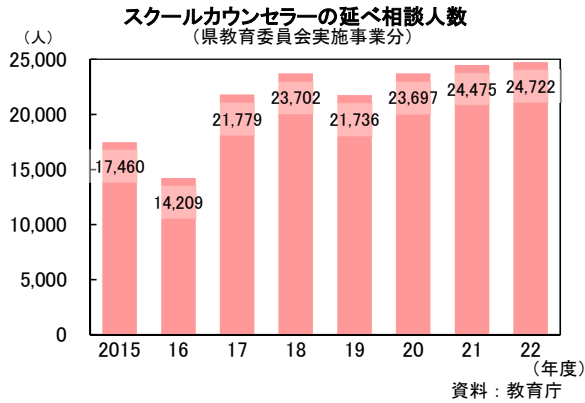


学習に関心・意欲を持つ子供の割合は、小学生・中学生ともに2019年度比で増加しており高水準を維持しています。



2022年度の小学校低学年における1日の運動・スポーツ実施時間が30分未満、すなわちあまり運動をしない児童の割合は、16年度に比べ減少しています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による行動制限等により、本県の肥満傾向児出現率が増加しています。



スクールカウンセラーの延べ相談人数は増加傾向にあります。

■ 主な課題と今後の取組の方向性

主な課題	今後の取組の方向性
<p>基礎的・基本的な知識・技能については、身近な生活と学習内容を結び付けて考える力などを身に付けさせるとともに、思考力・判断力・表現力等については、学習内容を関連付け一般化する力などを身に付けさせる必要があります。</p> <p>また、小学校外国語活動及び小・中学校外国語科における「目標と指導と評価の一体化」による授業改善と児童生徒の英語力及び教員の指導力向上に一層取り組む必要があります。</p>	<p>主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業改善の手引となる資料や全国学力・学習状況調査の結果と今後の対策等を活用し、教員の指導力向上及び児童生徒の資質・能力の育成に取り組みます。</p> <p>また、児童生徒の英語力や教員の指導力向上に向け、本県で中核的な役割を担う教員を対象とした研修と支援訪問を計画的・継続的に取り組み、本県の小・中学校における外国語教育の更なる充実を図ります。</p>

主な課題	今後の取組の方向性
<p>本県の大学や短大などへの進学率は横ばいで推移し、全国と比較して低い状況にあります。また、県内高等学校からの医学部医学科合格者数は概ね70人前後で推移していますが、引き続き医師を志す生徒が進路実現できるよう対策が必要です。</p>	<p>医師を含めた各々の進路実現に資するよう、引き続き高校生の学力及び教員の指導力向上に取り組みます。</p>
<p>2022（令和4）年度のスクールカウンセラーへの延べ相談者数は、前年度に比べ増加しており、いじめや不登校の未然防止、早期発見に向けた取組が求められています。</p>	<p>相談体制の充実や教員・スクールカウンセラー等の資質向上に取り組むほか、いじめ防止標語コンクール等の実施により、安心できる学校環境づくりといじめ防止意識の啓発に取り組みます。</p>
<p>小学校低学年における1日の運動・スポーツ実施時間（体育を除く）が30分未満の割合は改善傾向にありますが、肥満傾向児出現率については、男女ともに全年齢層において全国平均を上回っており、望ましい食習慣と運動習慣の定着を図る必要があります。</p>	<p>肥満傾向児が多い要因を把握するための調査を実施するとともに、その調査結果に基づく運動や食に関する指導を行います。また、体育・食育の楽しい授業づくりの実現に向けた教員向け研修会を実施し、教員を通じた児童の健康習慣確立に向け、意識の向上を図ります。</p>
<p>防災教育の充実に向けて、実践的な体験活動の充実が求められていることから、学校と地域が連携した防災訓練の実施に向けた体制整備及び学校防災の中核となる教職員の養成が必要です。</p>	<p>子どもの発達段階に応じた防災教育モデルを構築し、「防災教育実践事例集」にまとめ、周知を図ります。 また、今後発生が想定される甚大な自然災害に対応した危機管理及び防災教育の中核となる教職員の養成し、学校防災体制の強化を図ります。</p>

（参考）2022（令和4）年度における県教育委員会の主な事業の取組状況

1 医師を志す高校生支援事業【学校教育課】 14,826千円

<p>取組状況</p>	<p>医師を志す高校生の実力向上に向けて本事業における拠点校（青森高等学校・弘前高等学校・八戸高等学校）が中心となり、学習セミナーを地区ごとに実施し（参加校18校、参加生徒数延べ948人）、医学部医学科に合格するための実力を養成した。</p>
-------------	---

2 進学力を高める高校支援事業【学校教育課】 5,053千円

取組状況	<p>高校生の大学進学志望の達成に向け、「校内研修体制育成プログラム」では、研究指定校6校において各学校の校内研修体制の組織的改善及び授業改善を通して教員の指導力向上を図るとともに、「進学力パワーアッププログラム」では、県立高等学校22校の学校独自の企画による取組の支援を行い、進学力向上を図った。</p>
------	---

3 学習状況調査【学校教育課】 3,871千円

取組状況	<p>県内公立小・中学校の児童生徒の学習状況を把握し、学習指導上の課題を明らかにするとともに、学習指導の改善の方向性を示した資料を作成し、小・中学校等に配布した。各学校において、校内研修で調査結果を踏まえた自校の課題の共通理解を図り、指導例を参考に授業改善が行われるなど、多くの学校で活用が見られた。</p>
------	--

4 小・中学校外国語教育充実支援事業【学校教育課】 1,355千円

取組状況	<p>小・中学校における外国語教育の充実及び本県外国語担当教員等の英語力向上を図るため、小学校外国語活動・外国語担当教員・英語専科指導教員研究協議会を県内6地区で開催（参加教員212人）するとともに、青森県中学校英語教育推進教師育成研修会を実施し、1年間にわたって英語力・指導力向上に係る研修を行った（参加教員20人）。 また、小・中学校外国語教育充実支援訪問を16回実施し、授業参観・協議を行った。</p>
------	--

5 小・中学校における教員のICT活用指導力向上事業【学校教育課】 1,935千円

取組状況	<p>教員のICT活用指導力向上や児童生徒の学びの質の向上を図るため、ICT活用指導力向上地区研修会（参加者延べ342人、研修教科：社会、算数・数学、外国語、技術・家庭、保健体育）及び校内研修等派遣研修（実施回数3回、参加者延べ54人）を開催した。また、「ICT活用応援サイト」にICTを活用した実践例やデジタル教科書及び学習支援ソフトを活用した実践例等を蓄積し、小・中学校の教員がICT学習教材等のコンテンツを自由に閲覧・活用できるようにした。</p>
------	---

6 高等学校におけるICTを活用した確かな学力向上事業【学校教育課】 4,089千円

取組状況	<p>教員のICT活用指導力の向上を図るため、ICT活用教育推進リーダー研修会を開催（参加者数52人）するとともに、全教員対象の動画配信によるICT活用指導力向上研修会を実施（参加者数2,111人）した。事業成果については、ICT活用教育研究協議会を開催し（参加者数52人）、情報共有を図るとともに、資料コンテンツのクラウドでの共有を行った。</p>
------	---

7 特別支援学校におけるICTを活用した確かな学力向上事業【学校教育課】 2,708千円

取組状況	<p>教員のICT活用指導力の向上を図るため、県立特別支援学校の全教員を対象にしたオンライン研修会（参加者数895人）、各校のICTの活用を円滑に進めるためのリーダーを育成する研修会（参加者数80人）、各校のICTを活用した授業実践の充実にに向けた研修会（参加者数40人）を開催した。</p>
------	--

8 学校図書館活用推進事業【学校教育課】 167千円

取組状況	<p>学校図書館の活用を推進するためのシンポジウムを開催（参加者29人）し、教職員、学校図書館関係職員、教育行政職員、公立図書館等職員等が、国の動向や本県の現状、公共図書館と学校図書館の連携等について共通理解を図った。</p>
------	---

9 学校の教育相談体制充実に支援する外部専門家活用事業【学校教育課】 139,515千円

取組状況	<p>児童生徒のいじめ、不登校や子どもの貧困問題等の諸課題への対応に係る学校の教育相談体制を支援するため、心理分野に関して高度な専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを県内全ての公立小・中学校、県立高等学校8校、県立特別支援学校1校に継続配置するとともに、要請等に応じた派遣を行った。</p> <p>また、教育・福祉分野に関して専門的知識・経験を有するスクールソーシャルワーカーを県内全ての小・中学校へ対応できるよう配置するとともに、県立高等学校6校に配置し、他校からの要請に応じた派遣を行うことで、学校の教育相談体制の充実に図った。</p>
------	--

10 居場所づくり・絆づくり推進事業【学校教育課】 1,167千円

取組状況	<p>不登校の未然防止等のため、安心して学べる環境づくりに向けた調査研究を指定校8校で実施するとともに、市町村教育委員会及び医療・心理・福祉等の関係機関や民間団体等による協議会を実施した。</p> <p>また、不登校支援コーディネーターを県総合学校教育センターに1人配置し、県内各地にある教育支援センターに対する支援や助言等を行い、市町村における支援体制の整備を促進した。</p>
------	--

11 24時間いじめ等電話相談事業【学校教育課】 9,623千円

取組状況	<p>児童生徒のいじめ・不登校などの相談に適切に対応するため、電話相談員による夜間・休日の相談とハートケアアドバイザーによる日中の相談業務を行うとともに、相談電話周知カードを32,900枚作成し、県内の小学校1年生、中学校1年生、高校1年生に配布した。</p> <p>・相談件数885件</p>
------	---

12 安心できる学校づくり推進事業【学校教育課】 1,168千円

取組状況	学校の組織的対応力の向上、教員の指導力向上により、各学校のいじめ防止等のための取組の充実を図るべく、県内全ての学校の教員を対象とする研修会を、校種や地区ごとに計6か所で開催した。また、いじめ問題対策連絡協議会を開催し、いじめ防止対策に係る関係機関の連携を強化した。
------	--

13 ソーシャルメディア等監視員配置事業【学校教育課】 2,847千円

取組状況	関係機関等と連携してSNSなどインターネット上のいじめに関係する事案を早期発見するため、ソーシャルメディア等監視員を学校教育課に1人配置した。
------	---

14 いじめ防止対策事業【学校教育課】 555千円

取組状況	県立学校全73校に対し、外部専門家や学校関係者による組織の設置を支援し、いじめ防止等の対策を実効的に行う環境づくりを図った。
------	--

15 語学指導を行う外国青年招致事業【学校教育課】 10,594千円

取組状況	県立高等学校等で語学指導を行う外国青年を29人任用し、異文化理解の促進や国際性豊かな人財の育成を図った。
------	--

16 学校図書館活動支援事業【教職員課】 6,140千円

取組状況	学校図書館の運営の改善及び機能向上により授業等で学校図書館を積極的に活用し、生徒の思考力・判断力・表現力や情報活用能力の育成を支援するため、学校図書館サポーターを県立高等学校10校に配置し、充実した学習環境づくりをサポートした。
------	--

17 いじめ防止キャンペーン推進事業【生涯学習課】 7,013千円

取組状況	小学生、中学生、高校生及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民からいじめ防止を訴える標語を募集（応募総数9,197点）した。また、その優秀作品をもとに制作したテレビCMを県内民放3社で放送（放送回数延べ78回）するとともにホームページで公開するなど、いじめ防止に関する県民の意識啓発を図った。
------	--

18 命を守る！防災教育推進事業【スポーツ健康課】 2,947千円

取組状況	<p>児童生徒が生涯にわたって自然災害発生時に適切に対応できる資質・能力の向上を図るため、県内公立小・中学校の各3校を研究指定校とし、地域と連携した防災訓練を企画・実施し、防災教育の在り方について研究するとともに、各指定校に外部講師を派遣し児童生徒が防災に関する知識や地域の災害の特徴等を学んだ。</p> <p>また、学校防災リーダー養成研修会を東青・中南の2地区で開催（参加者数120人）し、学校防災の中核となる教員の資質向上を図った。</p>
------	---

19 楽しさアップ！子どもの健康づくり事業【スポーツ健康課】 1,424千円

取組状況	<p>小学校低学年担任等を対象に、小学校学習指導要領に則った楽しい体育の実現のために必要な指導方法等について、青森市など県内3会場で研修を行った（参加者数249人）。</p> <p>また、小学校低学年用運動遊びチャレンジカード、クリアファイル及びシールを作成し、県内全小学校の低学年児童に配布するとともに、学校及び家庭における活用を依頼し、小学校低学年の運動実施時間の増加を図った。</p>
------	---

20 いきいき青森っ子健康づくり事業【スポーツ健康課】 2,347千円

取組状況	<p>県内の私立幼稚園2園、公立小・中学校各3校、県立高等学校2校、県立特別支援学校1校を実践研究校に指定し、健康課題解決のための発達段階に応じた具体的な指導内容、指導方法について研究を行うとともに、中間報告会を書面により開催した。</p> <p>また、実践研究校による2年間の取組や成果等について報告書にとりまとめ、各学校への周知を図った。</p> <p>性に関する講演会については、県立高等学校、県立特別支援学校（高等部）及び県立中学校の生徒を対象に63校で開催し、正しい知識の習得を図った。</p>
------	--

21 体力向上推進事業【スポーツ健康課】 323千円

取組状況	<p>生徒の発達段階を踏まえた体力向上の実践的な指導方法の充実と教員の資質向上を図るため、体力向上に係る諸問題等を協議する保健体育担当者研修会を開催した（参加者数104人）。</p> <p>また、県内小学校を主な対象とした体力向上に取り組むコンテストを実施した。</p>
------	---

22 青森から世界に向かってチャレンジするグローバル人財育成事業【学校教育課】

3,206千円 （施策1に掲載）

23 ドリカム人づくり推進事業【学校教育課】 6,821千円 （施策1に掲載）

- 24 学校における文化部活動推進事業【学校教育課】 1,000千円 (施策4に掲載)
- 25 学校における運動部活動推進事業【スポーツ健康課】 10,014千円 (施策4に掲載)
- 26 地域部活動推進事業【スポーツ健康課】 318千円 (施策4に掲載)